児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

1 調査の趣旨

児童生徒の問題行動等について状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、その実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応に、また、不登校児童生徒への適切な支援につなげていくもの

2 上尾市調査結果概要

(1)暴力行為

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	1 2	8 3	2 4 3
中学校	4	2 8	3 7
合計	1 6	1 1 1	280

- ・暴力行為の発生件数は、増加傾向である、
- ・暴力行為がいじめと関連していることが多いため、令和3年度より暴力行為を積極的に 認知するように各上尾市立小・中学校長に依頼している。

【いじめ】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	3 9 4	6 1 2	7 1 5
中学校	100	1 4 0	1 2 4
合計	4 9 4	7 5 2	8 3 9

- ・いじめの認知件数は、増加傾向である、
- ・令和3年度よりいじめ認知を積極的に認知するように各上尾市立小・中学校長に依頼している。

【30日以上の長期欠席者(小学校)】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
病気	4 8	8 6	4 7
経済的理由	0	0	0
不登校	4 4	8 7	1 2 6
その他	4 3	4 8	264
新型コロナウイルス感染回避		7 2	1 0
合計	1 3 5	293	4 4 7

【30日以上の長期欠席者(中学校)】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
病気	6 3	8 3	6 7		
経済的理由	0	0	0		
不登校	209	2 5 7	3 0 8		
その他	2 4	3 7	8 4		
新型コロナウイルス感染回避		2 1	6		
合計	2 9 6	3 9 8	4 6 5		

- ・30日以上の長期欠席者は、増加傾向である。
- ・30日以上の長期欠席の理由で最も多いのは小学校、中学校共に不登校である。